

第 1 2 8 回 東海地区三県下(愛知・岐阜・静岡)の企業経営動向調査

1. 概況

全産業の業況総合判断「D.I.」は 2 期連続で好転が続く

1. 業況総合判断「D.I.」は 12.1 ポイント改善し、2 期連続の好転を示した。先行きは▲3.5 ポイントと好転割合が減少する見通し。
2. 売上高「D.I.」が前回比+18.1 ポイントの 22.5 と大きく好転したことにより、収益「D.I.」が前回比+9.0 ポイントの 11.1 と好転し、収益環境が改善してきていることが窺える。
3. 経営上の問題点は、「人材の育成」や「求人難」が高位となり、「売上・受注不振」が比率を下げた。また、前回調査時同様、為替の円高是正により輸入原材料や燃料などの「原材料の高騰」が続いており、懸念材料となっている。
4. 設備投資実施率は 47.6%と前回より 7.0 ポイント上昇した。企業業績が改善傾向にあり、緩やかながら企業マインドが改善してきている。

今期は、本年 4 月に実施された消費税率引き上げを前の駆け込み需要で、小売業や卸売業で売上高「D.I.」が好転したが、先行きを見ると、4 月以降の反動を懸念する声が各種「D.I.」に表れている。

